

## ビジネスマン

2023. 7. 24

サラリーマンという言葉とビジネスマンという言葉がある。何となく、ビジネスマンの方が聞こえがいい。両者の本質的な違いは何か。

ある人は、サラリーマンとは、会社に仕事をしに行く人だという。定められた時間に、定められた仕事をする人である。ときには、または恒常的に残業もする。サラリーマン的上司の下にいる部下は、定められた仕事の進め方の指示を上司から受け、定められた仕事をこなす。

定められたことを、定められたとおりに、こなすだけであるから、上司も部下もリーダーシップを発揮する必要がない。失敗を避けて定まった枠の中で、定まった仕事を無難にこなすのがサラリーマンである。リーダーは、サラリーマンであってはならない。

サラリーマンに対する言葉はビジネスマンである。ビジネスマンとは、会社に結果を出しに行く人である。それもただ単なる結果ではない。出すべき結果に求められた期待を超えた付加価値を加えることができる人である。意欲と能力をもつプラスアルファの人であるが、付加価値をつくるためには、ときには前例のないことにもチャレンジする必要がある。

前例のないことにチャレンジして、結果を出すためにはリーダーの強いリーダーシップが必要である。チャレンジといっても、目標を達成するためには手段を選ばずというチャレンジではない。正しいプロセスを経た上での目標達成である。人は、経験のないこと、未知の分野へ飛び込むことに恐れを抱く。チャレンジには、常に失敗するかもしれないという不安が伴う。

チームで未知の分野にチャレンジするためには、チーム全体の勇気を奮い立たせなければならない。そのためには、このまま行けば我が社には将来がない。現状是認のままでは没落してしまうという危機感を醸成する必要がある。健全な脅しである。

チャレンジするには、まずリーダーが勇気と覚悟を示す必要がある。その上で、チームのメンバー一人一人をできると励まし、チャレンジしたら我が社はこうなるという将来の希望をもたせる必要がある。その先にあるものを示すと、人の心にはやる気の炎が燃えてくる。

リーダーの中の最高峰である社長に求められるリーダーシップとは、サラリーマン的スタンスではなく、ビジネスマンとしてのリーダーシップである。ビジネスマンとは、自分の頭で考え、自分の足で立ち、自分の腕で仕事をして結果を出す人である。こういった人をプロという。プロに対して、アマとは会社の名刺で仕事をする人である。

これらのことは、そのまま学校や教育界に当てはまるわけではない。だが、参考にできることは多いと思う。ある人は、こうも言っている。「会社の運命は社長の人間力によって80%以上が決まる」果たして、自分はビジネスマンなのだろうか。サラリーマンにはなっていないだろうか。立ち止まって考えてみる必要がある。